



10月25日 「水間寺」と松葉温泉で安らぎのひとときを！
カルチャー事業部



絶好の行楽日和（10月25日）に恵まれシニア世代の面々が南海電車難波駅に集結。下馬評では参加者が少ないのではと酷評されたが何と何と33名がニコニコ顔で集合時間前



に整列、余裕を持って難波発区間急行に乗車しました。

早速お口の体操が始まりアツと言う間に貝塚駅に到着、水間鉄道に乗換後、ゆったり走る列車と車窓の風景に久しぶりの田舎の情景を思い出すひとコマでした。



終点の水間観音駅、駅舎は非常に趣のある風靡な建物で国の有形文化財、カメラに収めました。いよいよ「水間寺」が間近にな

ってきました。水間の町は門前町として水間寺は俗に水間観音と称され2月の初午詣は全国から大勢の人が参詣に来られるようです。次に3班編成の我が一団は参詣の目的である祈祷を受けるべく本堂に上がり、僧侶の詔(家内安全・健康長寿)を神妙に聞き入りました。



記念写真を撮った後、西葛城神社（楠神社）に向けて出発、道中上り下りの細道を辿ること約30



分、恐れていた落伍者数名、急遽松葉温泉シャトルバスのお世話になりました。一方、元気いっぱいの皆さんは余力を残して西葛城神社に到着。

暫し休憩、空腹もありお迎えの松葉温泉シャトルバスで食事処に向かいます。

12時50分、宴会用大広間での懐石料理に舌鼓、参加費5,500円に納得。帰りの時間も気にせず大広間でゆっくり寛げたことも骨休め

となりました。また、カラオケや日帰り入浴もあり、秋本番の嬉しい一時を過ごしました。世話役のみなさんには感謝です。次回の行事楽しみにしています。



